



▲高田(左)と坂本はともに大会初優勝(©JPBA・以下同)

コロナ禍で3年ぶりの開催となった『中日杯2022東海オープンボウリングトーナメント』は、愛知県名古屋市の星が丘ボウルに男子236名・女子154名(プロ選抜大会を含む)のプロ・アマが参加して4日間の熱戦を繰り広げ、男子は高田浩規(52期・株コロナワールド)、女子は坂本かや(49期・永山コバボウル)がそれぞれ優勝を飾った。(主催:中日新聞社/東海ボウリング場協会/日本プロボウリング協会東海地区)



▲初タイトル獲得の一戦を10フレパンチアウトで締めた高田は、目を潤ませながら万感のガッツポーズ!

今夏に待望の第一子を授かったことが発奮材料になったか、9月はウェッブアイカップ9位、MKチャリティカップ3位と連続して上位入賞。今大会もステージが上がるにつれて調子を上げ、ついに優勝をたぐり寄せた。

「めちゃくちゃうれしいです。1勝するまで長かったけれど、ここからがスタートと思って、もういちど気を引き締めて2勝

“三度目の正直”で川添に雪辱

1マーク差リードで迎えた10フレ1投目。見事に勝利を確定するストライクを決めた瞬間、高田の視界はこみあげる涙で遮られた。

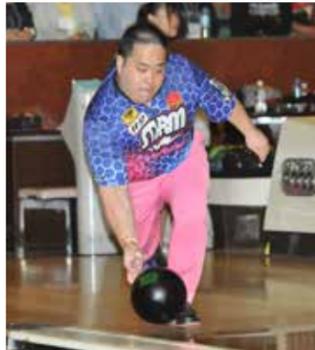
プロ10年目にしようやくつかんだ悲願の初タイトル。それも5年前の全日本プロ選手権、昨年のJPBAプレイヤーズドリームマッチの優勝決定戦で2度対戦し、いずれも敗れている川添奨太(49期)に“三度目の正直”で雪辱を遂げてのものとおぼろげに喜ぶ。



9月22~25日 星が丘ボウル  
中日杯 2022東海オープンボウリングトーナメント

男子 高田浩規がプロ10年目の初V

女子 坂本かやが2年ぶり5勝目



▲1マーク差を追いかけて先に投げた10フレ1投目は無情の◎ピンタップ。“新米永久シードプロ”川添のV21は次戦以降に持ち越しとなった

目、3勝目を目指していききたい」と高田。年内の残り6大会でも目が離せない存在となりそうだ。

優勝ボール: 900GLOBAL (ABS)リアリティ・チェック

プロの意地“魅せた”坂本

一方、勝てば2年ぶり5勝目の坂本と、前週のMKチャリティカップに続くアマチュア初の2大会連続Vを目指す近藤菜帆選手のマッチアップとなった女子の優勝決定戦は、まれに見



▲近藤選手の2週連続Vを阻止し、2年ぶり5勝目を挙げた坂本。息をのむ大接戦をプロの意地で制して“魅せた”

る白熱の好勝負となった。

両者ともゲーム序盤は左レーンの攻略に苦しんだが、中盤以降はしっかりアジャスト。6フレからはピタリ同ピンで並んだまま相譲らぬ展開に、会場のギャラリーは固唾を呑んだ。

勝負が決したのは10フレ2投目だった。先投げの近藤選手の一投は、気持ち薄めに入って◎ピンを残す。ストライクなら

V確定の坂本は、プレッシャーを振り払うかのようにやや間を置いて呼吸を整え、見事にスブラッシュの快音を響かせた。

「強い相手で、ストライクが途切れたら負けと思っていたので、最後まで集中を切らさずに投げることができました」と、プロの面目を保つ勝利に笑顔を弾かせた坂本。この1勝を機に、一昨年3連勝した当時の勢い再び...となるか!?

優勝ボール: ハンマー(レジェンドスター)ブラックウィードゴーストパール



▲男女ベストアマ。男子総合3位の佐藤宇宙選手(アソビックスかにえ)は東海学園大4年で昨年のJBC全日本選手権3人チーム戦の準優勝メンバー、女子準Vの近藤選手(名古屋グランドボウル)は2大会連続、今期3度目のベストアマだ

●男子優勝決定戦

Scoreboard for men's final: Takada vs Kawasumi. Takada scores: 20, 50, 79, 99, 119, 148, 168, 187, 207, 237. Kawasumi scores: 20, 40, 68, 88, 108, 137, 157, 177, 197, 217.

●女子優勝決定戦

Scoreboard for women's final: Sakamoto vs Konno. Sakamoto scores: 20, 40, 60, 88, 108, 128, 158, 188, 218, 246. Konno scores: 20, 40, 59, 68, 98, 128, 158, 188, 217, 237.

●男子決勝シュートアウト

Men's final shoot-out: Takada (238) vs Kawasumi (237) vs Shimizu (217) vs Sato (193). Winner: Takada.

●女子決勝シュートアウト

Women's final shoot-out: Sakamoto (236) vs Konno (234) vs Sato (234) vs Kohno (199). Winner: Sakamoto.

NEWS “吊りピン”導入のボウリング場が宮城県大崎市内にグランドオープン!

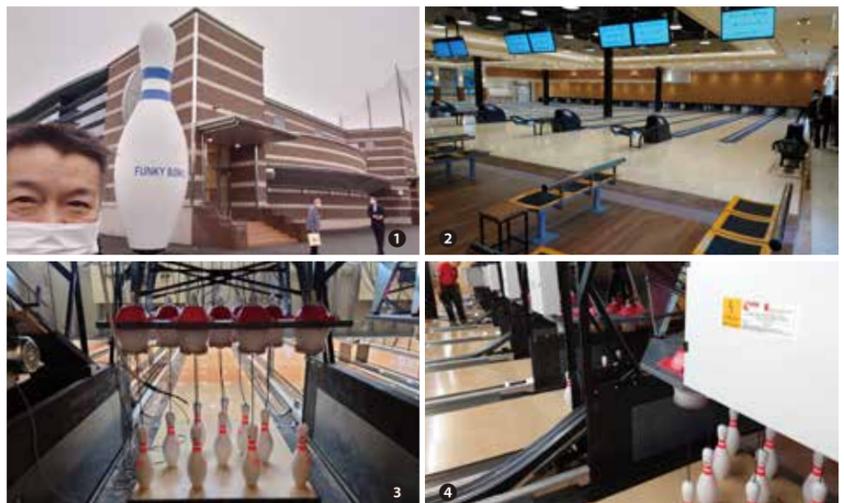
9月23日、国内で初めて“吊りピン”(ドイツFUNK社製ストリングピンセッター)を導入したボウリング場「ファンキーボウル」が、宮城県大崎市内にグランドオープンした。ちなみに、同センターを所有するのは秋田県秋田市に本社を置く株式会社ファンキーで、同社の船木寛代表取締役は現在、秋田県ボウリング場協会の会長を務めている。

同日行われたオープニングレセプションに出席し、自ら体験投球をしてストリングピンセッターの動きをつぶさに観察してきた黒田信幸BPAJ副会長(北海道・厚別パークボウル代表取締役)は次のように話す。

「紐吊りピンだということはまった

く感じられないですね。スイーブランがないのでサイクルが早く、ボールリターンがダブルディビジョン(ガターレーン)の上を通るのは視覚的に面白い。機械構造はいたってシンプルでメカニックも不要だし、1台300万円と安価。電気代もランニングコストも激減するので、これからの主流になるかもしれないですね」

前号既報のとおり、都内渋谷区の笹塚ボウルではキューピカANF社製の吊りピン(こちらの名称は「ストリングピンスポッター」)を導入して12月にリニューアルオープンの予定。“吊りピン”に対するボウリング場関係者の関心は、今後さらに高まっていきそうな気配だ。



▲①ファンキーボウルの外観。左下の人物はBPAJ黒田副会長②全15レーンながら開放感のある場内③裏側から見たストリングピンセッターの様子④ボールリターンはガターレーンの上を通過している(写真はすべて黒田副会長の提供)